

京都大学事務 組織図・職員数

(2007年1月1日現在)

総長
役員会

秘書・広報室
監査室

経営企画本部

総務部
企画調査・評価部
人事部
財務部
施設・環境部
情報環境部

教育研究推進本部

学生部
研究推進部
国際部
共通教育推進部

学生センター
キャリアサポートセンター
競争的資金サポートセンター
国際交流サービスオフィス
広報センター
人事事務センター
給与・共済事務センター
出納事務センター
契約・資産事務センター
施設サポートセンター
情報システム管理センター

各部局事務部

文学研究科
教育学研究科
法学研究科
経済学研究科
理学研究科
医学研究科
薬学研究科
工学研究科
農学研究科

人間・環境学研究所
エネルギー科学研究科
情報学研究科
生命科学研究所
地球環境学堂
人文科学研究科
再生医科学研究科
基礎物理学研究所
ウイルス研究所

経済研究所
数理解析研究所
原子炉実験所
霊長類研究所
東南アジア研究所
附属図書館
医学部附属病院
宇治地区事務部
三研究科共通事務部

総長	1名
理事・監事 (非常勤を含む)	9名
教員	2,897名
教務職員	25名
事務職員	982名
図書系職員	106名
技術職員	393名
医療職員	754名
計	5,167名

※特定有期雇用教員、特定医療技術職員を除く

そここが知りたい！人事に関するQ&A

……採用希望者の疑問・不安について人事担当者にきいてみました。

- 採用試験において、既卒者と新卒者に有利・不利はありますか。またそれぞれに求められているものは違うのでしょうか。

京都大学では大学の運営の担い手として高い意欲を持ち、やる気のある人を求めています。そのためフレッシュな感覚で既成概念にとらわれずに諸課題を解決できる新卒者も、民間経験等多様な経験や能力を有し、広い視野で考えることができる既卒者のどちらも必要であり、どちらかが有利・不利ということはありません。

- 配属や異動はどのようにして決まるのですか。また異動の頻度はどのくらいですか。

本人の適性や希望を充分把握のうえ、希望理由、これまでの経験、適性等を総合的に判断して適正な配置に努めています。異動の頻度は概ね3年毎ですが、現場経験や知識の蓄積が必要な部署では、短期間での異動は避ける配慮をしています。

- 採用者の男女比率はどのようになっていますか。

事務系、技術系合わせて平成16年度は男12名、女14名、平成17年度は男23名、女23名、平成18年度は男34名、女23名です。また女性の採用だけでなく、中間管理職以上の職への女性登用も、積極的に推進しています。

- 文部科学省や他の国立大学など、他機関で勤務する機会はどのくらいありますか。

平成18年度は文部科学省等研修生として10名、国立大学法人・特殊法人等への出向により28機関123名が他機関で勤務しています。特に若手職員の文部科学省等への研修は積極的に行っています。